

令和2年度

高齢者が安心して暮らせるまちづくり ～医療と介護の連携を中心に～

団塊の世代が後期高齢者となる2025年以降、医療や介護の需要がさらに増大することが見込まれています。この研修では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりの実現を目指し、在宅医療と介護が連携し、地域全体で高齢者の自立生活を支える仕組みをどのように構築していくか考えます。

開催要領

- 日 程** 令和2年9月15日(火)～9月17日(木) (3日間)
- 場 所** 全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
- 対 象** 高齢者福祉や高齢者が安心して暮らすための施策に携わる市区町村等の職員
3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
- 募集人数** 40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
- 宿 泊** 研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
- 経 費** 10,850円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食3回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
- 申込期限** 令和2年7月29日(水)まで
※新型コロナウイルス感染症の影響により、申込期限内での申込みが難しい等の事情がございましたら、遠慮なくご相談ください。
- 申込方法** JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。
「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。
- 受講決定** 受講の可否については、通常、開講日の約1か月前までに通知をお送りしておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2～3週間前までの送付とさせていただきますので、ご了承ください。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
- 事前課題** 研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和2年

9月
15日(火)

11:00~ 入寮受付・昼食

12:30~ 開講・オリエンテーション

13:00~15:35

講義 超高齢社会にむけて、高齢者が安心して暮らせるまちづくり～医療と介護の連携を中心に～

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 辻 哲夫 氏

老いても住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けられるまちづくりを進めるために、特に地域包括ケアの最大の課題である医療と介護の連携の強化と、そのために市町村が今、何をすべきかお話しいただきます。

15:50~17:00

講義・演習 グループ討議①

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 吉江 悟 氏

在宅医療・介護連携推進とそのPDCAとロジックモデルを用いた事業評価について概説した上で、受講者同士の情報・意見交換を通じて、在宅医療・介護連携の目的・目標、地域を目指す姿について考えます。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~14:10

事例紹介 医療・介護事業者と行政の協働による在宅医療・介護連携の推進

コーディネーター:東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 吉江 悟 氏

・誰もが安心して暮らせるように～川根本町の取組～

静岡県川根本町高齢者福祉課課長補佐兼地域包括支援センター長 池本 祐子 氏

医療・介護資源が少ない小規模自治体で、町直営訪問看護ステーションと地域包括支援センターが地域の拠点となり、入退院から看取りまで、住民の暮らしを一体的に支える取組についてお話しいただきます。

・地域の活動から進める小松市の在宅医療・介護

石川県小松市長寿介護課 主幹(保健師) 角地 孝洋 氏

事業所や住民の自主的な地域活動からのボトムアップと、協議会からのトップダウンの両方から事業化した取組、コンチネンスケアや認知症施策などについてお話しいただきます。

・地域ケア会議を通じた在宅医療・介護連携推進の取組

愛知県豊明市健康福祉部健康長寿課 課長補佐 松本 小牧 氏

地域ケア会議から地域の医療・介護職の連携を深める取組について、豊明市版地域ケア会議の考え方や実際についてお話しいただきます。

14:25~17:00

講義・演習 グループ討議②

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 吉江 悟 氏

ここまでの講義・事例紹介を踏まえ、地域における在宅医療・介護連携の推進に向けた施策について、在宅医療・介護の場面別の体制や、地域ケア個別会議をはじめ地域支援事業との連動も踏まえて考えます。

9:25~12:00

演習 発表、質疑応答、講評

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 吉江 悟 氏

演習の内容を受講者全員で共有し、議論を通じて医療・介護の連携推進に効果的な施策についての理解を深めます。

13:00~14:10

講義 総括講義とふりかえり

東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員 吉江 悟 氏

地域における医療・介護の連携の推進と事業評価、連携体制構築のための市町村の役割について、総括講義を行い、本研修のふりかえりを行います。

14:10~14:40

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和2年

9月
17日(木)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。